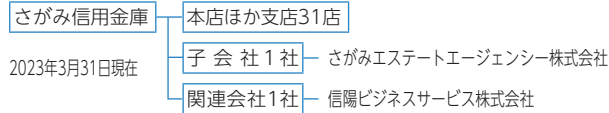


連結決算の状況

さがみ信用金庫グループの主な事業内容及び組織の構成

さがみ信用金庫グループは、さがみ信用金庫、子会社1社、関連会社1社で構成され、信用金庫業務を中心に、事務処理代行業務などの金融サービス業務を提供しています。（子会社・関連会社の状況は15ページをご覧ください）



(注) 当金庫子会社のさがみサプライ株式会社は2023年3月31日付で解散しました。

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2021年度 2022年3月31日現在	2022年度 2023年3月31日現在
(資産の部)		
現金・預け金	324,919	317,384
買入金銭債権	370	280
有価証券	244,602	227,819
貸出金	349,940	351,847
その他資産	4,322	4,326
有形固定資産	9,014	9,349
無形固定資産	241	219
退職給付に係る資産	398	575
繰延税金資産	712	582
債務保証見返	76	75
貸倒引当金 (うち個別貸倒引当金)	△ 6,438 (△ 5,826)	△ 5,451 (△ 4,768)
資産の部合計	928,160	907,009

単位：百万円

科目	2021年度 2022年3月31日現在	2022年度 2023年3月31日現在
(負債の部)		
預金積金	839,783	853,396
借入金	54,616	26,100
その他負債	1,920	1,905
賞与引当金	248	240
退職給付に係る負債	0	—
役員退職慰労引当金	91	109
繰延税金負債	—	—
債務保証	76	75
負債の部合計	896,736	881,827
(純資産の部)		
出資金	3,151	3,078
利益剰余金	28,815	29,403
処分未済持分	△ 0	△ 0
会員勘定合計	31,967	32,481
その他有価証券評価差額金	△ 542	△ 7,299
評価・換算差額等合計	△ 542	△ 7,299
純資産の部合計	31,424	25,182
負債及び純資産の部合計	928,160	907,009

連結損益計算書

単位：千円

科目	2021年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日	2022年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日
経常収益	9,864,281	8,709,781
資金運用収益	7,212,803	7,172,221
貸出金利息	5,011,831	4,962,667
預け金利息	361,334	402,798
有価証券利息配当金	1,753,413	1,721,241
その他の受入利息	86,224	85,512
役員取引等収益	1,055,877	1,047,896
その他業務収益	313,381	261,505
その他経常収益	1,282,218	228,158
償却債権取立益	9,043	10,453
その他の経常収益	1,273,174	217,705
経常費用	9,134,770	7,819,512
資金調達費用	179,478	150,409
預金利息	173,714	143,101
給付補填備金繰入額	2,647	1,901
借入金利息	687	3,048
その他の支払利息	2,429	2,357
役員取引等費用	749,509	742,720
その他業務費用	148,499	793
経費	6,505,373	6,269,054
その他経常費用	1,551,908	656,534
貸倒引当金繰入額	1,428,144	267,156
その他の経常費用	123,764	389,378
経常利益	729,511	890,268
特別利益	6,653	892
固定資産処分益	4,626	25
その他の特別利益	2,027	867
特別損失	11,082	94,217
固定資産処分損	5,993	27,318
減損損失	600	61,039
その他の特別損失	4,488	5,860
税金等調整前当期純利益	725,082	796,943
法人税、住民税及び事業税	27,096	16,788
法人税等調整額	53,993	129,578
法人税等合計	81,090	146,367
当期純利益	643,992	650,576
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	643,992	650,576

(注) 連結財務諸表の作成方針

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結される子会社及び子法人等 2社

主要な会社名

さがみサプライ株式会社

さがみエステートエージェンシー株式会社

(2) 非連結の子会社及び子法人等 1社

主要な会社名

信陽ビジネスサービス株式会社

非連結の子会社及び子法人等は、その資産、経常収益、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しています。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法の適用の非連結子会社及び関連会社は該当ありません。

3. 連結される子会社及び子法人等の事業年度に関する事項

連結される子会社及び子法人等の決算日は次のとおりです。

3月末日 2社

4. のれんの償却に関する事項

該当事項はありません。

5. 剰余金処分項目等の取り扱いに関する事項

連結剰余金計算書は、連結会計年度において確定した剰余金処分に基づいて作成しています。

連結決算の状況

連結剰余金計算書

単位：千円

	2021年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日	2022年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	—	—
資本剰余金増加高	—	—
資本剰余金減少高	—	—
資本剰余金期末残高	—	—
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	28,234,840	28,815,433
利益剰余金増加高	643,992	650,576
親会社株主に帰属する当期純利益	643,992	650,576
利益剰余金減少高	63,399	62,854
配当金	63,399	62,854
利益剰余金期末残高	28,815,433	29,403,154

2022年度連結決算の概況

2022年度の連結決算の概要は、経常収益が87億9百万円、経常利益が8億90百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が6億50百万円となりました。

連結対象子会社の当期の取引は、主にさがみ信用金庫の委託契約によるものです。単体決算と比較し、連結の経常利益は28百万円、連結の当期純利益は19百万円の増加となりました。

事業の種類別セグメント情報

連結会社は信用金庫業務以外に不動産管理業務等の事業を営んでいますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。なお、連結会社に金融子会社・保険子法人はありません。

連結の主要な経営指標の推移

単位：百万円

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常収益	8,993	9,881	9,099	9,864	8,709
経常利益	890	625	774	729	890
親会社株主に帰属する当期純利益	818	428	559	643	650
純資産額	34,230	30,621	34,312	31,424	25,182
総資産額	764,347	779,347	917,239	928,160	907,009
連結自己資本比率	9.83%	9.59%	9.45%	9.57%	9.95%

連結の自己資本の状況

さがみ信用金庫の連結自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、単体同様、経営の健全性・安全性を確保しています。

なお、連結子会社の自己資本は主に当金庫の出資金や内部留保による資本の積み上げで構成されており、これ以外に特段の資本調達は行っていません。また、連結グループ内での資金及び資本の移動の制限はありません。

連結の信用金庫法開示債権の状況

連結対象の子会社には、貸出債権がありませんので、さがみ信用金庫単体の数字が連結の信用金庫法開示債権の状況になります。

(注) さがみ信用金庫単体の信用金庫法開示債権の状況は、11ページをご覧ください。

子会社・関連会社の状況

(2023年3月31日現在)

会社名	所在地	主な業務内容	設立年月日	資本金	当金庫 出資比率	当金庫の子会社 等の出資比率
さがみエステートエージェンシー株式会社	小田原市本町2-9-25	不動産管理、 担保不動産評価等	1991年2月8日	20百万円	100%	—
信陽ビジネスサービス株式会社	小田原市本町2-10-27	電子計算機利用 システム開発等	1988年11月25日	12百万円	10%	—

(注) 当金庫子会社のさがみサプライ株式会社は2023年3月31日付で解散しました。